

報道発表



平成31年3月18日

文化審議会 答 申
～国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定及び
登録有形文化財（美術工芸品）の登録について～

文化審議会（会長 ^{さとう まこと} 佐藤 信）は、3月18日（月）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、3件の美術工芸品を国宝に、41件の美術工芸品を重要文化財に指定すること、また、2件の美術工芸品を登録有形文化財に登録することについて、文部科学大臣に答申しましたので、お知らせします。

詳しくは、別添の資料「Ⅰ. 答申内容」、「Ⅱ. 解説」、「Ⅲ. 参考」を御覧ください。

なお、今回答申を受けた文化財の一部は、4月16日（火）から5月6日（月）まで東京国立博物館本館（東京都台東区上野公園13-9）にて、特集「2019年新指定国宝・重要文化財」展で公開します。

＜担当＞ 文化庁文化財第一課

課 長	平山 直子	（内線 2884）
課長補佐	吉野 孝行	（内線 2933）
調査官（絵画の部）	綿田 稔	（内線 2890）
主任調査官（彫刻の部）	奥 健夫	（内線 2891）
調査官（工芸品の部）	伊東 哲夫	（内線 2889）
主任調査官（書跡・典籍、古文書の部）	藤田 励夫	（内線 2888）
主任調査官（考古資料の部）	原田 昌幸	（内線 2892）
調査官（歴史資料の部）	地主 智彦	（内線 2893）
審議会係長	福島 俊輔	（内線 2887）
電話：03-5253-4111（代表）		
03-6734-2887（直通）		

I. 答申内容

1. 国宝（美術工芸品）の指定

<絵画の部>

（重要文化財を国宝に 1 件）

- ① キトラ古墳壁画

五面

<彫刻の部>

（重要文化財を国宝に 1 件）

- ① 木造五智如来坐像

五軀

（重要文化財を統合して国宝に 1 件）

- ① { 木造薬師如来立像
木造伝衆宝王菩薩立像
木造伝獅子吼菩薩立像
木造伝大自在王菩薩立像
木造二天王立像

一軀

一軀

一軀

一軀

二軀

2. 重要文化財（美術工芸品）の指定

<絵画の部>

（有形文化財を重要文化財に 5 件）

- ① 絹本 著色春日鹿曼荼羅図

一幅

- ② 絹本 著色釈迦三尊像

三幅

- ③ 紙本金地 著色唐獅子図

一隻

- ④ 絹本 著色東大寺縁起

二幅

- ⑤ 絹本著色 鯉魚跳龍門図 けんぽんちゃくしよくりぎょちょうりゅうもんず 熊斐筆 ゆうひひつ

一幅

＜彫刻の部＞

（有形文化財を重要文化財に 8 件）

- ① 木造弁才天坐像 もくぞうべんざいてんざぞう

一軀

- ② 木造日蓮坐像 もくぞうにちれんざぞう 院興作 いんこうさく

一軀

- ③ 木造獅子狛犬 もくぞう し し こまいぬ

一對

- ④ 木造金剛力士立像 もくぞうこんごうりき しりゅうぞう 像（二王門安置） におうもんあんち

二軀

- ⑤ 木造僧形八幡神及諸神坐像 もくぞうそうぎょうはちまんしんおよびしよしんざぞう 頼円、実円作 らいえん じつえんさく

五軀

- ⑥ 木造千手観音立像 もくぞうせんじゅかんのりゅうぞう 像（本堂安置） ほんどうあんち

一軀

- ⑦ 木造地藏菩薩立像 もくぞうじぞうぼさつりゅうぞう 像

二軀

- ⑧ 木造阿弥陀如来立像 もくぞうあみだにょらいりゅうぞう 快成作 かいじょうさく

一軀

＜工芸品の部＞

（重要美術品を重要文化財に 1 件）

- ① 漆塗菜桶 うるしぬりさいおけ

一口

（有形文化財を重要文化財に 4 件）

- ① 銅置物「十二の鷹」 どうおきもの じゅうに たか 鈴木長吉作 すずきちょうきちさく

十二体

- ② 色絵十二月和歌花鳥図角皿 いろえじゅうにかげつ わ か かちょうず かくざら 尾形乾山作 おがたけんざんさく

十二枚

- ③ 黄瀬戸福字鉢 きせとふくじはち

一口

- | | | | |
|---|---|-----------|----|
| ④ | { | ばっし
鉞子 | 一對 |
| | | どら
銅鑼 | 一口 |

＜書跡・典籍の部＞

（有形文化財を重要文化財に 3 件）

- | | | |
|---|---|----------|
| ① | ぞくけ ごんきょうりやくそかんじょうきかんだいご
続華嚴經 略疏刊定記卷第五 | 一卷 |
| ② | げんばんいつさいきょう
元版一切 經 | 四千五百八十一帖 |
| ③ | こんびょうしこぞうし
紺表紙小双紙 | 四百七十二点 |

＜古文書の部＞

（重要美術品を重要文化財に 1 件）

- | | | | |
|---|---|--|----|
| ① | { | ばんれきにじゅうにねん
ちょうせんこくこくしん 万曆二十二年
朝 鮮国告身 | 一通 |
| | | ばんれきにじゅうにねん
けいしょうどうかんさつ し けんじゅんさつしこうりしやうでんれいならびによじやう 万曆二十二年
慶尚道觀察使兼巡察使洪履祥伝令并書状 | 二通 |

（有形文化財を重要文化財に 5 件）

- | | | |
|---|--|---------------------|
| ① | とよとみ け もんじよ ろくじゅうななつう
豊臣家文書（六十七通） | 二冊、六十五通 |
| ② | みきた け もんじよ ひやくよんつう
和田家文書（百四通） | 八巻、二幅 |
| ③ | がくえん じ もんじよ よんひやくきゅうじゅうよんつう
鰐淵寺文書（四百九十四通） | 十巻、十冊、一幅、
四百七十二通 |
| ④ | だざい ふあとしゅつどもっかん
大宰府跡出土木簡 | 百十三点 |
| ⑤ | りゅうきゅうこくじだいせきひ
琉球国時代石碑 | 二十五基 |

<考古資料の部>

(有形文化財を重要文化財に 7 件)

- | | | |
|---|---|----|
| ① | <small>ひょうごけんいけだこふんしゅつどひん</small>
兵庫県池田古墳出土品 | 一括 |
| ② | <small>わかやまけん あ す か じんじゃけいだい ほうらいさん しゅつどひん</small>
和歌山県阿須賀神社境内（蓬莱山）出土品 | 一括 |
| ③ | <small>とっとりけんあおやかみ じ ち い せ き しゅつどひん</small>
鳥取県青谷上寺地遺跡出土品 | 一括 |
| ④ | <small>とくしまけん や の い せ き しゅつどひん</small>
徳島県矢野遺跡出土品 | 一括 |
| ⑤ | <small>きんさくめい た ち</small>
金錯銘大刀 | 一口 |
| ⑥ | <small>おおいたけんふ ない おおとも し い せ き しゅつどひん</small>
大分県府内大友氏遺跡出土品 | 一括 |
| ⑦ | <small>かごしまけんさんかくやまい せ き しゅつどひん</small>
鹿児島県三角山遺跡出土品 | 一括 |

<歴史資料の部>

(有形文化財を重要文化財に 7 件)

- | | | | | |
|---|---|--|---|-------|
| ① | <small>そ うれとな もんじょ</small>
カラフトナヨロ惣乙名文書 | <small>もんじょ</small>
(ヤエンコロアイヌ文書) | <small>じゅうさんつう</small>
(十三通) | 二巻 |
| ② | <small>えぞがしまきかん</small>
蝦夷島奇観 | <small>はたのあわきまろひつ</small>
秦檜磨筆 | | 十三帖 |
| ③ | <small>ちょうきん ご とう けかんけいしりょう</small>
彫 金後藤家関係資料 | | | 一括 |
| ④ | <small>い え うどん け かんけいしりょう</small>
伊江御殿家関係資料 | | | 百四十六点 |
| ⑤ | <small>こうたいよりあいにしたかぎ け かんけいしりょう</small>
交代寄合西高木家関係資料 | | | 一括 |
| ⑥ | <small>ごうじょうきどうしゃ</small>
ホジ六〇一四号蒸気自動車 | <small>たいしょう に ねん</small>
大 正二年、 | <small>き し やせいぞうかぶしがいいしやせい</small>
汽車製造株式会社製 | 一両 |
| ⑦ | <small>やえやまくらもと え し がこうるい</small>
八重山蔵元絵師画稿類 | <small>みやらあんせんきゅうぞう</small>
(宮良安宣旧 蔵) | | 九十点 |

3. 登録有形文化財（美術工芸品）の登録

<歴史資料の部>

（有形文化財を登録有形文化財に 2 件）

- | | | |
|---|--|---------|
| ① | <small>けんちくきょういく けんきゅうしりょう</small>
建築教育・研究資料
<small>せんだいこうとうこうぎょうがっこうけんちくがっかきゅうぞう</small>
（仙台高等工業学校建築学科旧 蔵） | 千四百三十七点 |
| ② | <small>かんりつこうとうきょういく かんえいぜんそしききんだいけんちくずめん</small>
官立高等教育機関営繕組織近代建築図面
<small>とうほくていこくだいがくえいぜんかきゅうぞう</small>
（東北帝国大学営繕課旧 蔵） | 千百三十九点 |

Ⅱ．解 説

1． 国宝（美術工芸品）の指定

<絵画の部>

（重要文化財を国宝に 1 件）

① キトラ^{こふんへきが}古墳壁画

五面

【所有者】 国（文部科学省所管）

【法 量】 東壁 縦 1 1 2 . 1 cm 横 2 0 3 . 7 cm
西壁 縦 1 1 2 . 8 cm 横 2 0 4 . 2 cm
南壁 縦 9 5 . 7 cm 横 7 2 . 8 cm
北壁 縦 1 1 2 . 2 cm 横 1 0 5 . 7 cm
天井 縦 1 0 5 . 8 cm 横 1 6 9 . 3 cm

奈良県高市郡明日香村のキトラ古墳の石室壁画。四方の壁と天井をあわせた壁画の全体構想が判明する点が極めて貴重で、とくに高松塚古墳では滅失している南壁の朱雀が良好な状態で残っていることが特筆される。天井の天文図も東アジアにおける最古例として貴重なもので、高松塚古墳壁画（国宝）と並んで我が国の古代絵画史を考える上で不可欠な作例である。

（飛鳥時代）

